

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200185
法人名	社会福祉法人 白寿会
事業所名	グループホーム 和
所在地	鹿児島県薩摩川内市中福良町2911番地1 (電話) 0996-22-9753
自己評価作成日	平成26年1月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

気持ちをくみ取り、心に届くサービスの提供として、職員は認知症により周りの事や自分の事さえ不確かになっていくご利用者の不安な気持ちや感情を適切な関わりにより和らげられるよう配慮しています。最終的に自分が利用したい、大切な人を預けたいと思えるグループホーム作りを目指しています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は社会福祉法人の広い敷地内に、特別養護老人ホームやデイサービスセンター・在宅介護支援センターなどが隣接して設置されている。周囲には民家も多く、散歩の際には挨拶や会話を楽しめる環境である。
- ・地域の自治会に加入し、認知症についての講演を引き受けたり、地域の清掃などにも積極的に参加し、事業所の行事には地域住民が多数参加するなど、日常的に交流している。
- ・利用者個人ををよく把握し、利用者の力量を活かした役割分担し、張り合いや喜びの日々を過ごせるように支援している。
- ・災害対策として、定期的な訓練と安全対策の整備がなされ、隣接している同法人の事業所と相互協力関係が構築されている。
- ・主治医や協力医療機関との連携が図られ、定期的な受診や緊急時の対応等の態勢が整っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を事業所の原点とし、自分達のおこなう支援や接遇がそれに沿っているか会議等で振り返りながらサービス提供に努めております。	事業所のケアのあり方と地域密着を目指し、基本理念を振り返り、意識付けをしている。職員は一体となり利用者が地域の中で、その人らしく安心して生活できるように理念を実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流には至っていませんが、行事に呼ばれたり、出向いたりする機会は増えています。	自治会に加入し、回覧板等で地域と情報のやり取りや行事・清掃活動に参加している。散歩や買い物の際には挨拶や会話を交わして花などももらったりしている。小学校の運動会の見学や認知症の講演を行う等、地域との交流を心がけている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方へ、認知症の理解を深めていただけるよう講演を行ったことがあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>事業所からの報告に終始する感じもありますが、なるべく意見をいただけるよう進行等も気をつけています。しかし、認知症の具体例など議題にしづらいテーマもあります。</p>	<p>会議は準備した資料をもとに事業所の活動や現況報告・外部評価の結果報告などが行われ、委員からも防災訓練やヒヤリハット等の多くの助言や提案があり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>重要な報告や解釈の難しい法令に関する疑問・質問等、各部署ごとに相談できる人を作っています。</p>	<p>市担当者とは、日頃から電話や申請書類の提出時に相談をしたり、困難事例や後見人制度等の情報を交換してアドバイスをもらっている。市主催の「グループホーム連絡会」などにも積極的に参加し連携関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人が主催する身体拘束委員会において身体拘束についての理解および何気なくおこなう行為が身体拘束につながっていないか等を検討する機会があります。和職員へもそれらを周知できるようにしています。身体拘束はおこなっておりません。</p>	<p>「身体拘束をしない」を常に意識し、お互いに注意しあったり、身体拘束委員会で理解を深め、実践につなげている。昼間は玄関の施錠をせずに職員間の連携で見守りや声かけを行い、外出希望者には、自然な対応・さりげないケアに努めている。近隣住民の声かけなどの協力もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の研修会や事業所内での勉強会で関連法を学ぶ機会があります。当事業所だけで自宅での虐待を見つける事は難しいですが、情報があつた場合は入居順を繰り上げたり用の用意があります。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要性が生じているケースがあり、市や社協関係者と話し合いをしたことがあります。また、研修へ参加し理解に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	納得いただいた場合のみ契約となり、解約や改定等においては十分な説明をおこなっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見や要望を気軽に話していただけるような雰囲気作りにつとめ、普段からご利用者、ご家族に意識して声を掛けさせていただいています。十分な検討が必要な要望等もありますが、臨機応変な対応を心掛けています。	利用者からは生活の中で話せる機会を作り、思いを聞いている。家族からは面会時や電話で利用者の現況を詳しく報告して家族の思いや意向を取り入れている。敬老会やクリスマスの食事会を設け、家族を招待し事業所の報告を行い、意見を聞き運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は個人および少人数単位で意見交換の場を設け運営に反映させるようにしています。また代表者は管理者から職員の意見等を聴く機会を設けアドバイス等を行っています。	管理者はミーティングや会議等で職員の意見や気づきを聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。ケアについての提案も多く、話し合っ具体的改善に繋がっている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、職員の総合的な職場環境の改善に努め、実践しています。また人事考課には職員の意見を記入できるようになっており状況把握に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外で研修・勉強会の機会は多く、資格取得も推奨しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、そこまで踏み込んだ交流はありません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずはじっくりとお話をお聴きすることから始めています。そうすることで安心感や信頼感につながっています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用者と同様、まずはじっくりとお話をお聴きすることから始めています。そうすることで安心感や信頼感につながって話しやすい環境を作ります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	聴き取り内容から得た情報を元にその背景や他のニーズを検討します。その際、当サービスが妥当であるか否かの検討もおこないます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	特に意識せず普通に接しています。良い関係が築けていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者が安定した生活を送っていただくためにご家族との関わりはとて重要であると認識しており、良好な関係が築けていると思います。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人や縁のあった方等に来ていただいたり、自分の家の確認、ご近所周り、墓参り等の支援をおこなっています。	これまでの生活歴や習慣を把握し、友人や知人が気軽に面会に訪れている。訪問の際には居室を開放している。家族の協力があり、行きつけの理・美容院や自宅周辺・買い物店・墓参りなどには今までの人間関係や社会との係わりが途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がいたわりの気持ちを持ち、お互いを尊重して生活を送っていただきたい。そこに職員がどのように関わっていくべきか模索している状況です。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後、ご相談等を受けることもあり、都度対応させていただいております。何よりご縁のあった方々ですので大切にしていきたい気持ちでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	全職員が日常の会話等から本人の意向を察知できるように努めています。更に面接等もおこない本人の希望に沿った生活とは何かを検討する機会を作っています。	家族や馴染みの友人・知人からの情報を得て、日々の生活の中で思いや意向の把握に努めている。入浴の時などリラックスした中で、特に会話が弾み、利用者の発する言葉や表情・行動などのサインを見逃さないように気づきを記録し、利用者の視点に立って職員間で話し合い、利用者本位の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者の人となりを知る事で生活に継続性を持っていただいたり、BPSDへの対応についてのヒントとしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録等の共有および細かな報告等により、一人ひとりの現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族や関係者の意見等も取り入れる柔軟さがありますが、何よりも本人の想いを重要視しています。介護計画は現状に即していると思います。	本人と家族やその他必要な関係者の意見を参考に、介護計画を作成している。ケア会議を毎月開催し経過を評価している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し見直しを行っている。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	十分とは言えませんが情報の共有がチームケアには欠かせませんので個別記録、変化があれば突発的なミーティングを行っています。その積み重ねが介護計画の見直し等につながっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	特に意識していませんが、柔軟な対応を心掛けていますし、そうあるべきだと考えています。ただし、求められる内容に全て対応できている訳ではありません。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者全員ではありませんが、それができているケースもあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医と事業所の関係も良好であり、本人や家族の希望に沿った支援ができていると思います。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関から月2回の訪問診療がある。専門医とは適切な医療連携が行なわれている。緊急時の対応など、かかりつけ医と連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員との協働はあまりありません。直接主治医に相談するケースがほとんどです。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>そのように努めており、関係づくりも行なっております。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化対応やターミナルケアに関しての事業所の方針を定めてご理解を得ております。</p>	<p>契約時に家族へ重度化や終末期に伴う対応の方針を説明し同意を得ている。重度化になっていく段階でその都度、家族の協力をもらいながら状況変化に伴い繰り返し話し合い、意向を確認し主治医と連携している。職員全員がその方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>経験に基づいて現場の対応力が向上したと考えています。その他、事例を用いて緊急時のシミュレーション、検討会を行っており、もしもの時に備えております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ご利用者のADL及び認知度等を考慮した避難訓練の実施。事業所加入の自治会へは協力をいただけるようお願いをし、了解を得ています。	年2回消防署との連携で昼夜間想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや自動災害通報装置・オール電化等、安全対策の施設整備がされている。隣接する法人施設や地域住民との協力体制もできている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳を守ることについては全職員共通認識として支援にあたっています。しかしながら、思いがけずそれらを傷つけることもあり、その場合はミーティング等をおこない情報共有し、再発防止に努めています。	研修の機会や勉強会で学習して意識付けを行い、尊厳を大切にプライバシーや人格を重視している。日常のケアの中で、馴れ合いにならないように言葉かけなど、対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	基本すべてにおいて自己決定できるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者主体である事は全職員理解しており、概ね希望に沿えていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の好みを聞きながら服選び等の手伝いをしています。いきつけの美容院へ行かれる利用者もおられます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、調理、片付け一連の過程の中にご利用者に関わっていただいています。	栄養士の助言を得ながら、それぞれの気持ちを大切に、食べたい食事の希望を聞いて嗜好に配慮した献立を作っている。利用者のできる範囲で買い物や食卓の準備・後片づけを職員と一緒にしたりしている。食事を検討する委員会を作り、食事形態や行事食などが楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分補給においては、ご本人の状態に合わせた対応をいたしており、栄養バランスに関しては法人の管理栄養士が立案したメニューを参考にしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ほぼ自分でされる方ばかりなので洗浄についてはお任せしている所もありますが、定期的に口腔内（義歯）等のチェック、聴き取りをおこなっています。異常の訴え等がある時は歯科医受診を早目にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握に努め、適時誘導を実施しております。失禁対策でパット使用の方もおられますが、トイレでの排泄を心がけております。	オムツをしなくて、意欲や自信をもって暮らせるように、排泄の習慣やパターンを細かく把握したり、個別支援を行なっている。周りに気づかれないように、トイレへさりげない声かけや誘導をして排泄の自立支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が及ぼす影響を十分理解しています。食べ物への配慮と水分補給、軽い運動等で数日の便秘には対応していますが、間隔が長い場合、主治医に相談し薬で対応することもあります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご利用者の希望の時間に自由に入浴していただく事を理想としていますが、事業所の都合になる場合もあります。	入浴委員会があり、温泉を活用して、精神的にリラックスでき、コミュニケーションを大切に入浴を楽しめるようにしている。原則週3回の入浴となっているが、希望があれば、好きなタイミングで入浴ができるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	心が穏かになれるよう会話したりお飲物をお出ししたり工夫をいたしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者個別の薬の把握は概ね出来ていると考えております。処方変更等生じた場合は主治医と連携し症状の変化等の把握に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別にお話を聞いたりして支援につなげています。本来、何の制限を受ける事もなく出来て当たり前の事ですので、なるべく希望に沿いたいと思っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的な部分は基本的に自由にしていただく考えであり、制限したくない部分であります。ご家族や友人の方の協力もあります。事業所の買い出し等へもお誘いして気分転換を図ったりしております。	日常的には広い敷地内の散歩を行っている。ドライブを兼ねた買い物や校区の秋祭り・運動会などの行事に出かけている。年間計画を立て、家族の協力を得ながら、墓参りや花見・ソーメン流し・外食などにも出かけている。夏の夜、利用者と職員で、ドライブでホテル観賞を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額を自分で管理される方もあり、嗜好品等に使われます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話や手紙の代筆等をいたしております。ご家族からのお電話等はおつなぎしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>空気の入替え等を意識しています。利用者においては自然光が眩しかったりする場合もあるので席に配慮し、対応しています。</p>	<p>共用の空間は、木造りの建築で温かみのある雰囲気である。天井が高く換気や採光に配慮されている。廊下が広く、リビングから直接ウッドデッキに出ることができ、開放的でお茶会や日光浴を楽しめる場所である。壁には利用者の作品や四季折々の花が飾られ、ゆったりと過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>館内を自由に使っていただいております。お互いに居室を訪問したり、小グループで集われたりという事もあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>慣れ親しんできた環境を出来るだけ再現していただけるようお願いしています。また、不都合や気分転換のため模様替え等をご本人の意思に基づき実施しています。</p>	<p>自宅で馴染んできた品物を居室に持ち込み、利用者や家族の意向を聞きながら配置している。エアコンが備え付けられ、ベッドやタンス・テレビ・椅子・時計・寝具類など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれている。利用者がそれまで住み慣れた家庭での生活を続けられるように、配慮され、その人らしい居室の雰囲気になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>共有部分において概ね、自立した生活が送れるようになっています。居室においては、安全に配慮し家具の配置等を替えたケースもあります。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない